



ロータリーは機会の扉を開く

春日井ロータリークラブ

2020～2021年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

「今・必要な良いことをしよう。みんなで」 奉仕目的と目標を明確にしよう。



会 長：和田 了司 例会日：金曜日 12:30～13:30
 副会長：川瀬 治通 例会場：ホテルプラザ勝川
 副会長：速水 敬志 事務局：春日井市鳥居松町5-45
 幹 事：朽本 正樹 TEL：(0568)81-8498
 FAX：(0568)82-0265
 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



ニュートンの林檎の木

本日のプログラム

2021年2月5日(金)2465回(2月第1例会)
<Zoom 例会>

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| | 司会 | 会場委員会 |
| ・点鐘 | 会長 | 和田 了司君 |
| ・国歌 | 「君が代」 | |
| ・ROTARY SONG | 「日も風も星も」 | |
| ・ゲスト紹介 | 会長 | 和田 了司君 |
| | 米山奨学生 | 願 彬楠様 |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | 会長 | 和田 了司君 |
| ・臨時総会 | | |
| ・卓話 | | 岩村 幸正君 |
| ・幹事報告 | 幹事 | 朽本 正樹君 |
| ・点鐘 | 会長 | 和田 了司君 |

たか。初めてのことなので参加する方も対応することが大変です。不都合が発生した場合はロータリーの友情をもってご容赦いただきたいと存じます。さて、昨日地区エンドポリオナウ委員会の福田委員長さんより春日井市民病院への『ありがとう弁当差し入れ事業』が素晴らしいね。」とのメールを頂きました。中部経済新聞の記事というのは愛知県下全般に伝播するという当たり前のことを認識させられました。また暮らしのニュースはママさん方への伝播力を思い知らされました。公共イメージ向上のためのメディアの利用法も考えてゆく必要がありますね。また、なぜに公共イメージ向上が必要かという原点のコンセンサスも必要かとも思います。『ありがとう弁当差し入れ事業』を通じて、改めて感染という危険の最前線で医療活動をされている市民病院コロナ病棟で働く方々をはじめとする医療、介護関係の方に感謝を表明できて良かったと思います。本日は、例会実施による感染の危険はまったくあり得ません。本日の例会よろしく申し上げます。感想等のメール大歓迎です。よろしく申し上げます。

先週の記録

会長挨拶 会長 和田 了司君

皆さん、こんにちは。本日の例会はズームを使用した例会です。その事前準備として理事会においてリアルとズームとの併用した会議をしました。さらにズームを完全利用した理事会も行いました。今私は自宅におります。司会の林田さん、幹事の朽本さん、エレクトーンの太田さん、一部のズームの操作に不安のある方の例外を除いて例会参加者の全ての方が会社か自宅からの参加となっております。緊急事態宣言の最大の目的である人と人との接触を避けるという趣旨を順守した究極の例会であります。会報は事前にメールでご送付しておりますが印刷してご用意して頂けましたか。ニコはメールで金額とコメントを送付いただけまし

幹事報告 幹事 朽本 正樹君

春日井ロータリー初のZoom例会が無事開催されました。皆様のご協力に感謝いたします。

1/16 臨時理事会が開催され、春日井市民病院への「ありがとう弁当」の予算が30万円から60万円に増額され、2/7まで再配膳する事が可決されました。

平和と紛争予防/紛争解決月間

	2月12日(金)	2月19日(金)	2月26日(金)	3月5日(金)
例会予定	休会(祝日振替)	休会 (IM中止により)	<Zoom 例会> 卓話 近藤 太門君	第9回理事会 11:15～(Zoom) <Zoom 例会> 卓話 村瀬 昌史君

2/4の会長・幹事会は中止となりました。

ポリオ寄付金の返礼品である「マスク」を皆様に郵送しました。種類は3種類で、アットランダムにお送りしております。

今回の臨時総会では総会資料をお手許においてご参加ください。資料がない場合は1/18に事務局から送信されているメールをご覧ください。

出席報告		委員長	友松 英樹君
会員 56名	出席 36名	出席率 64.2%	
先々週の修正出席	休会	休会	

ニコボックス報告

委員長 岡本 博貴君

○山田さんの卓話楽しみにしています。

和田 了司君

○Zoomの事前練習に参加していただいた方、ありがとうございます。今日はバッチリです。

朽本 正樹君

○アテンダンス表彰を受ける喜びで

川瀬 治通君

○山田君お誕生日おめでとうございます。

峠 テル子君

○Zoom例会にて山田君の卓話楽しみです。

青山 博徳君	岩村 幸正君	梅村 守君
大西 信之君	岡本 博貴君	小柳出和文君
貴田 永克君	宅間 秀順君	内藤 修久君
中澤 一君	野間 峰彦君	林田 健児君
長谷川智幸君	西村 輝幸君	廣瀬 清司君
村瀬 昌史君	森部 清孝君	山田 治君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

山田 治君

ロータリーから得たもの = 友・精神的なもの・

偉大な先輩

ロータリーで得た友人

ロータリーで得たメンタルな面

ロータリーで得た偉大なる先輩

久しぶりに卓話をするということで張り切っておりました。残念ながらズーム例会で直接接触がないということで少し残念に思います。これもコロナ禍の中、致し方ありません。

いずれにしても時間が充分ありますので若い世代も沢山入会されたことですから私も忘れられないように売り込みをしておきます。

私は春日井ロータリークラブに入会して今年の9月16日で27年になります。この間、本日のスピーチを含め演壇中央にてお話したことは本日で4回目。但し会長職、幹事職の2年間は別です。この2年間

はかわいげもなくしゃべりまくります。ですからこれを差し引けば25年間で4回だけです。簡単に言うと7年に一回しか話すチャンスはないのです。従って、今日のこの日に感謝し併せて加藤プログラム委員長、下田副委員長にこの際お礼を申し上げねばなりません。

さて、これから合わせて20分位、お話ししますが私は後でも触れますが滑舌が悪く、平たく言うと呂律が回らないことがあります。ここ10年位前からの病気の進行のせいですが、時間帯にもよりますがそんな時はご容赦ください。

27年間のロータリーでの思い出を2,3申し上げますと会長職、幹事職としての2年間は、仕事とはちょっと違う、別な感性が必要な2年間でした。抽象的な言い回しで分かりにくいですが私の場合は常に母体・春日井ロータリーばかり見ていて、例えば会社経営の如くもっと大きな視点で大局的に考える余裕がなかった気がします。これは多分、役員の間が単年度ということもあると思います。

2007~2008の1年間はガバナー補佐幹事として清水ガバナー補佐に別の世界=異次元を見させて頂いた大変貴重な1年間でした。清水 勲ガバナー補佐の下で東尾張分区の補佐幹事としての仕事をすることは自然にロータリーのいわゆる矜持と高潔性を与えてくれたもので実り多いロータリーライフでした。この1年間はロータリーを大きな視点でとらえることができました。

私は春日井ロータリークラブ50年の歴史の中で一つだけ記録？を持っています。実は親子2代で会長と幹事という記録を持っているからです。「だから何なの？」と言われれば返す言葉もありませんが、参考までにお話しますと、父 山田澄は第13代会長で第7代の幹事。私はと言えば第41代会長、そして第38代幹事とクラブ計画書にも記載があります。故岡嶋靖雄氏が会長職を目前にして亡くなられたのは残念でした。彼も私と同じ道を辿るはずだった。

さて、ロータリーでは私に限らずかけがえのない友を得ることが多くあります。それがロータリーの良さであります。先ほど申し上げた岡嶋靖雄氏と松本淳氏、そして風岡保広氏、三人とも奇しくも故人ではありますが私はこの故人三人に沢山の友情と知恵を頂きました。

また清水勲氏には、会長とガバナー補佐の際の幹事を仰せつかってこの上ない経験をさせて頂いたことに心から感謝しています。後の私の人生に大きな影響を頂きました。敬愛するこの4人の飲む場所も夫々の個性で違って岡嶋氏は地元春日井、松本氏は必ず錦、風岡氏は相手のリクエストでどこでも、清水氏は日本全国、それぞれ楽しい話がいっぱい聞けました。

27年に及ぶロータリーの中で特に思い出深かったのは、2008年10月4日にクラブ創立40周年記念講演でゲストスピーカーにラグビーの平尾誠二氏を呼んだことです。

もう一つは、地区のインターアクト協議会が3RC主体で2005年7月に開催されました。

この2点については卓話の際にお話した通りで紙面の関係上割愛します。

さて、昨年、弊社も創立60周年を迎えました。順調に大きくなり、娘にバトンタッチしました。当初はこれらの私の仕事のこと、特に私の最も好きな美しい金属：銅の話をすればとも思いました。

しかし、先程の計算で次に卓話が回るのが7年後、私の命も…。ということになりますから、是非とも今回、我がクラブの偉大な先輩のことを報告しておきたいと思います。

大変大げさに聞こえるかも知れませんが私には命の恩人という人がいます。春日井RCの今も現役で最高年齢の足立治夫先生に命を助けてもらいました。昭和37年秋(1962年)から昭和38年初め頃の古い話ですが、私が亡くなればもう諸事情を知っている人もいなくなります。更に足立先生自身も私との一件について忘れてしまっているかもしれません。ここはきちんと総括し改めてお礼を言うておく必要があると考えていたからです。

昭和37年の秋のことです。私は地元の中学3年生。翌38年早々に、高校受験を控えていた頃の話です。ですから今から58年前になりますが体育の授業中、鉄棒で遊んでいた時に鉄棒から落下し頭を強打し動けなくなりました。実はこの落下したとの報告も事実とは違っていたのですがあえてここでは言及しないものとしますが、とにかく私は頭が割れるように痛くなり学校からも両親に連れて帰るように電話連絡がありました。父も母もまだ会社を興したばかりで忙しい最中、迎えに行く時間もとれず0交通にタクシーを依頼し私は学校に迎えに来たタクシーに乗せられて帰宅することになりました。車内でもその痛さと何よりも吐き気がひどくドライバーはもうこれはダメと判断したのだろう、通り道にあった当時、勝川で最も大きな病院、足立病院に降ろしてくれた。

その後、学校と病院のやりとりがあったらしいが、私が聞いた範囲で書けば当時足立病院には入って間もない若い先生がいた。その人がN大医学部から来た若手のホープ足立治夫先生だった。

先生は学校へ電話し多分、「病人を何も報告なしで放り込むとは何事だ」と怒ったらしい。学校は校内放送をかけ事実関係の調べを始めたらしいがそんなことを後で断片的に聞きました。

10年前、MRIでみた私の頭の写真にはスッポリと穴のあいた左前の脳の写真がありました。脳検診ドックの先生に過去に脳挫傷でもされたかと尋ねられたことがあった。

その騒ぎから多分約3ヵ月間位(記憶なので定かではないが)足立病院に入院し先生のお世話になりました。

後に足立先生は「僕は何もしていない。只見ているだけだったよ」と謙遜して言っていました。私に

は「何も考えるな。動くな、じっとしてなさい」とだけ言っていました。当時、背骨に大きな注射針のようなものを刺して液体を抜き取り遠心分離器にかけると見事に血と透明な液の二層に別れたのが見えました。確かに60年前の医療ではじっとしていることがベストだったかもしれません。

面会謝絶、絶対安静という長い時を超え私はほぼ回復しました。先生の暖かい声援に後押しされて…。ここまで治ると次に考えるのは高校のことでした。「何も考えるな」の言葉通り、何も勉強しない3ヵ月があり高校受験は目前でした。当然中学校を出て浪人することもあり得ると考えざるを得ませんでした。今思うと悲しい毎日でした。

この時先生が病室に来て話されたことは60年近く経った今でも忘れずに覚えています。今となっては先生の許可をとって話すことは叶いませんので私の責任で話します。先生は、「私が何とかするから心配するな」と言いました。何故どうやって?先生が言うには「私はA高校からN大医学部に入り医者となった。そんな卒業生はA高校にはいない。だからA高校には顔が効く。どうにでもなる。だから心配するな!」ということでした。

先生の真剣な顔付きをみて中学生の私でもその意味を理解しました。

結果的に私はそのルートではなく名古屋市立向陽高校というところに普通に試験を受け合格、何もなかったかのようにその向陽高校を卒業しました。

今でも、先生からの優しさ溢れるA高校の一言を思い出し、何よりも精神的な安心感を与えてくれた医術に敬服、尊敬しているところです。

私はこの足立先生ともう一人、機転を効かせ病院に私を降ろして去った0交通の運転手の二人に対し心から感謝しています。このドライバーがいなければ?と死んだ母がよく言っておりました。その通りです。

この年になって様々な人々に助けられて今の私があるということを実感しています。

最後に、現在パーキンソン病と戦っています。医者者の判定はステージ3(ホーン・ヤール重症度分類)この程度の病と戦っている人達は一杯います。まだまだ頑張れると思っておりますが、、、。ご清聴ありがとうございました。



点鐘 和田 了司会長



卓話 山田 治君



和田会長より事務局に空気清浄機を寄贈



ロータリーソング・今月の歌
エレクトーン演奏 太田 英美様